

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 4 月 17 日 (2014.4.17)

【公開番号】特開 2012-201013 (P2012-201013A)

【公開日】平成 24 年 10 月 22 日 (2012.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2012-043

【出願番号】特願 2011-68387 (P2011-68387)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/26 (2006.01)

B 4 1 J 2/32 (2006.01)

B 4 1 J 31/00 (2006.01)

B 4 1 J 31/05 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 1 0 1 Z

B 4 1 M 5/26 Z

B 4 1 J 3/20 1 0 9 J

B 4 1 J 31/00 A

B 4 1 J 31/00 C

B 4 1 J 31/05 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 28 日 (2014.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材フィルムと、

前記基材フィルムに設置され、第 1 の I / O 値を有する第 1 の熱可塑性樹脂を含む非転写性離型層と、

前記非転写性離型層に設置され、前記第 1 の I / O 値との差の絶対値が 0 . 4 0 より大きい第 2 の I / O 値を有する第 2 の熱可塑性樹脂を含む画像保護層と

を具備する熱転写ラミネートフィルム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の熱転写ラミネートフィルムであって、

前記画像保護層に設置された接着層をさらに具備する

熱転写ラミネートフィルム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の熱転写ラミネートフィルムであって、

前記第 1 の I / O 値と前記第 2 の I / O 値との差の絶対値が 0 . 7 5 より小さい熱転写ラミネートフィルム。

【請求項 4】

基材フィルムと、

前記基材フィルムに設置され、第 1 の I / O 値を有する第 1 の熱可塑性樹脂を含む非転写性離型層と、

前記非転写性離型層に設置され、前記第 1 の I / O 値との差の絶対値が 0 . 4 0 より大

きく 0.75 より小さい第 2 の I / O 値を有する第 2 の熱可塑性樹脂を含む画像保護層と前記基材フィルムに設置されたインク層とを具備する熱転写シート。

【請求項 5】

被記録媒体を所定方向に搬送する搬送機構と、

第 1 の I / O 値を有する第 1 の熱可塑性樹脂を含む非転写性離型層と、前記第 1 の I / O 値との差の絶対値が 0.40 より大きく 0.75 より小さい第 2 の I / O 値を有する第 2 の熱可塑性樹脂を含む画像保護層と、前記被記録媒体の表面に熱転写して画像を形成するインク層とを有する熱転写シートと、

前記熱転写シートを走行させる走行機構と、

前記被記録媒体の表面に前記熱転写シートの前記インク層または前記画像保護層及び前記接着層を熱転写させる熱転写ヘッドとを具備する画像形成装置。